

高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 芸術 科目 音楽I

教科: 芸術 科目: 音楽I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 1組~ 2組

教科担当者: 中内道子

使用教科書: (Tutti)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自身の声を生かして、曲想に応じた歌い方ができる。 作曲家の生涯、作品、世界各国の民族芸能などを知り	自分自身の目標を持ち、よりよい音楽表現のために継続的に努力をする。	実技演習を主体的、積極的に行う。 お互いに協力しながら教え合い高めようことができる 楽器、機材を丁寧に大切に扱う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑賞					
前期	オリエンテーション 授業内容、取り組み、評価を理解する。 歌声を響かせよう。	オリエンテーション クラスの歌声を響かせよう。 校歌の歌詞の理解、旋律を知る。	○				得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に学習に取り組む姿勢	○	○	○	6
	歌唱の為の正しい姿勢、発声を身につけて、響く声を出す。 各季節がどのように、歌に描かれているかを味わう。 音符、休符の読み、拍教を理解して、正確に書けるようにする。	腹式呼吸で発声をする。 校歌 四季の歌1「春が来た」 ワークシートを使用して、音符、休符について学ぶ。	○				得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に学習に取り組む姿勢 提出物	○	○	○	10
	「ドレミの歌」「エーデルワイス」が生まれた物語を知る。英語で歌う。 「故郷」の歌詞の理解、情景を思い浮かべて歌う。 キーボードで音階、指使いを知る。	物語と音楽の関わり 「サウンドオブミュージック」 鑑賞歌唱 英語の歌 「故郷」 キーボード演習	○	○		○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	歌詞を味わい、情景を思い描いて歌う。 歌唱テスト キリスト教全盛時代の人々と音楽の関わりを知る。 バロック音楽の特徴を知る。	季節の歌2 夏、秋の歌 「夏の思い出」「赤とんぼ」 「少年時代」 キーボード演習 中世、ルネッサンスの音楽 ヴィヴァルディ、バッハの音楽について	○	○		○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	8
後期	イタリアの風土、イタリア語の発音を知る。「オーソレミーオ」をイタリア語で歌う。 正しい姿勢、指使い、各部の名称、音階を学ぶ。 映像も交えて学び、モーツアルトの生涯、音楽、当時の時代を映像も交えて学ぶ。	イタリア民謡や歌曲 「フニクリフニクラ」「オーソレミーオ」 ギター演習 モーツアルトの生涯と音楽	○	○		○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	ドイツ語の響きや発音を知る。 ベートーベンの音楽を聴き、何故、楽聖と言われているかを一人一人考えてみる。 基礎演習を生かして、ギターで童謡や簡単なポップスを弾けるようにする。	ドイツ歌曲の魅力 「野ばら」「魔王」 ギター演習 ベートーベンの生涯と音楽について	○	○		○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	世界各地の民族音楽文化を体感して、豊かな音楽文化を創造する。 日本伝統芸能の舞台、音楽、舞台を知る。 これまでの楽器演習を生かして、楽しいアンサンブルを作る。	アジアの歌、日本の民謡、世界各国の歌 「茉莉花」「ソーラン節」 歌舞伎、日本の伝統芸能 ギターとピアノ合奏 歌唱テスト	○	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	ギター、キーボードで弾き語りを楽しむ。 創作した曲を演奏してみる。	弾き語りに挑戦しよう。 創作 1部形式、2部形式の曲を作り、演奏して発表する。	○	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	6
合計										70	

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 2 組

教科担当者：中内道子

使用教科書：(Tutti 音楽Ⅱ

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自身の声を生かして、曲想に応じた歌い方ができる。 作曲家の生涯、作品、世界各国の民族芸能などを知識	自分自身の目標を持ち、よりよい音楽表現のために継続的に努力をする。	実技演習を主体的、積極的にを行う。 お互いに協力しながら教え合い高めようことができる 楽器、機材を丁寧に大切に扱う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
前期	オリエンテーション 授業内容、取り組み、評価を理解する。 腹式呼吸を身に着ける。 校歌を知る。 J-POPで歌声を響かせよう。 古代からキリスト教時代への音楽の変遷を学ぶ。	オリエンテーション 声という大切な楽器を知る。 馴染みのあるJ-POPでクラスの歌声を響かせよう。 校歌の歌詞の理解、旋律を知る。 様々な時代の作曲家による「アヴェマリア」を比較しながら鑑賞し、その良さを味わう。	○			得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に学習に取り組む姿勢	○	○	○	6
	歌唱の為の正しい姿勢、発声を身につけて、響く声を出す。 ポップスを楽しく歌う。季節がどのように、歌に描かれているかを味わう。 音符、休符の読み、拍数を理解して、正確に書けるようになる。 器楽アンサンブルの為の基本演習	腹式呼吸で発声をする。 校歌 J-POP 四季の歌 クラスの歌声を響かせよう ワークシートを使用して、音符、休符について学ぶ。 キーボードの基礎技法	○	○		得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に学習に取り組む姿勢 提出物	○	○	○	10
	日本の歌曲や四季の歌を知る。 バロック音楽の特徴、バッハ、ビバルディの音楽を知る。 キーボード、リコーダーで音階、指使いを知る。	「風の子供」「ほたるこい」 バッハ、ビバルディの作品を聴き、声や楽器の生み出す世界を味わう。 キーボード、リコーダー演習	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	オーケストラの魅力を味わおう。 モーツァルトの人生と交響曲を知る。 ビートルズの魅力を知る。 英語の歌を歌詞の意味を考え歌えるようにする。 歌唱テスト	物語と音楽の関わり 「アマデウス」鑑賞、モーツァルトの時代背景と音楽を知る。 オーケストラの楽器について学び、交響曲やピアノ曲等の作品を味わう。 キーボード、リコーダーアンサンブル	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	8
後期	ビートルズの魅力を知る。 英語の歌を歌詞の意味を考え歌えるようにする。 イタリアの風土、イタリア語の発音を知ろう。 音楽の社会的意義を知る。ショパン国際コンクール。	「Let it be」 「カタリカタリ」 ショパンピアノ協奏曲1番 ギター演習	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	ドイツ歌曲の魅力を知る。 様々な曲を聴き、演奏家の表現の仕方を知ろう。 アメリカ大陸の音楽 ギターの演奏を楽しもう。 アンサンブルを楽しもう。	「Ich liebe dich」 Bach無伴奏チェロ組曲1番 クラリネット協奏曲 ガーシュインの音楽、黒人音楽 ギター演習	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	世界各地の民族音楽文化を体感して、豊かな音楽文化を創造する。 日本伝統芸能の舞台、音楽、舞台を知る。 これまでの楽器演習を生かして、楽しいアンサンブルを作る。	アジアの歌、日本の民謡、世界各国の歌 「赤いサラファン」 能、日本の伝統芸能 ギターとピアノ合奏 歌唱テスト	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	10
	ギター、キーボードで弾き語りを楽しむ。 創作した曲を演奏してみる。	弾き語りに挑戦しよう。 創作 1部形式、2部形式の曲を作り、演奏して発表する。	○	○	○	得た知識、技術の表現度 主体的、積極的に、協力的に学習に取り組む姿勢 自身を高めようとする継続的な努力	○	○	○	6
合計									70	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

芸術 科目 美術 I

教科： 芸術

科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 ～ 第 4 学年

教科担当者： （1年：清水 竜達 2年～4年：阿部 泰介 ）

使用教科書： （ 高校生の美術 I / 日本文教出版 ）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
【知識及び技能】 美術 I の学習イメージを持ち、 学びの意味や広がりについて考える。 自己をみつめ を造形要素に置き換え、内面を表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 形、色彩、材料の要素と色彩効果や心理的影響を学習し、理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えたいメッセージや場面などをもとに、効果を考え構想を練る。 鑑賞を通して、ねらいや意図に理解を深める。	・オリエンテーション「美術とは何か」	○		○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
・自己をみつめ、欠感を造形要素に置き換え、内面を表現する。	・想像を形に（絵・鑑）	○		○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	26
形、色彩、材料の要素と色彩効果や心理的影響を学習し、理解を深める。	・色彩、美の秩序、文字の基本を学ぶ（絵・デ・鑑）	○	○	○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	
伝えたいメッセージや場面などを基に、効果を考え構想を練る。鑑賞を通して、ねらいや意図に理解を深める。	・ポスターで伝える（デ・鑑）		○	○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	

	機能と美しさとの調和、材料の性質や構造について理解を深め、使う人や場面、デザインの目的や条件、機能美を考え、暮らしの中のデザインをする。	暮らしの中のデザイン				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>				26
	テーマを基に、絵コンテを描き、画面の変化や動きを検討し、表現・伝達効果を工夫して、時間の流れや物語性、音などの効果も考え、創意工夫したアニメーションを制作する。	・「動きだす形」アニメーションの手法				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>				
後期	版による表現効果を考え、構想を練ったり鑑賞すると共に、掘りや製版、刷りを工夫して表す。	・版で表す。				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>				16
	仏像彫刻は豊かな表現や思惟する姿など、比較することで表現の豊かさや力強さを感じとり、理解を深める。	祈りの形				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。</p>				
合計										
70										

高等学校 令和5年度 教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年～第4学年

教科担当者：(月34限：清水 竜達 水34限：阿部 泰介)

使用教科書：(高校生の美術2/日本文芸出版)

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
【知識及び技能】 美術Ⅱの学習イメージを持ち、 学びの意味や広がりについて考える。 自己をみつめ を造形要素に置き換え、内面を表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 形、色彩、材料の要素と色彩効果や心理的影響を学習し、理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えたいメッセージや場面などをもとに、効果を考え構想を練る。 鑑賞を通して、ねらいや意図に理解を深める。	・オリエンテーション「美術とは何か」	○		○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
・デッサンを描くための基本的な知識・用具や材料の使い方、特性などを理解する。 ・グラデーション（段階的变化・諧調）を描き、物の立体感を表現するための描法を学ぶ。	・デッサンの基礎①	○		○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
・立方体・球体をそれぞれ描き、先のグラデーションを用いた立体物の描き方、パースペクティブの理解を深める。	・デッサンの基礎②	○		○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11
・身近にある果物や器物を観察して描く。デスケールを使い、構図の取り方やモチーフの選び方を学ぶ。	・静物デッサン	○		○	【知識・技能】 ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	11

